

環境科学アドバイザー養成講座資料

第三教科資料

【生命の仕組みと健康①】

- 人間の真相と仕組み…P2
- 肉体の原理と仕組み…P4
- 人体を構成する三大生命元素…P6
- 森と樹木と生命…P8
- ミネラル元素はなぜ微量なのか？…P10
- 食物の役目とは？ …P13

付随資料

- ◆ 人間の本质と肉体と心の仕組み
- ◆ 人間の真相

■ 人間の真相と仕組み

人間は肉体と心と精神と魂の存在である

■ 『一寸の虫にも五分の魂がある』

人間もしかり。

人間は感情と思考意識を持った肉体と、その肉体に納まり肉体を駆使して生きる感性と精神意識を持った魂の存在です。

まさに、人馬一体のような存在です。

馬そのものは意識を持った一つの生命体であり、その背にまた別の生命体である人間が乗って馬を駆使します。

馬にとっても人間にとっても大変重宝なのです。

何故なら、馬は人間ほどの知恵や思考はないが強靱な肉体があり、人間には強靱な肉体はないが馬を超える知恵や思考があります。

つまり、人間の魂は人間の【実相】であり、【真我】と呼ばれる存在で、肉体はその器であり乗り物でもあります。

■人間の【魂】は肉体としての現象を持たないエネルギー体であるため生死がない。

魂は幾度も違う肉体を得て、違う人生体験をします。

まさに、幾つもの舞台に立つ役者のようなものです。

■人間の【肉体】は、その魂が今生の人生体験をするため、地上の大気元素である水素 49.7%・炭素 24.9%・酸素元素 24.9%と極微なミネラル元素 48 種類合計 0.5%をもとに地上で生まれた存在です。

従って肉体には生死があります。

肉体の死をもって人生は終焉を迎えますが魂には死は存在しません。

■『健全な肉体に健全な精神が宿る』

つまり、魂が豊かで健全な人生体験をするためには、肉体が健全であることが大切なのです。

肉体と魂は生涯切っても切れない存在です。

かつて、お釈迦さまが何年間も悟りを求めて肉体を駆使して生きましたが、悟りを得ることはできませんでした。

肉体としてのお釈迦さまの意識が悩み、幾ら悟りを求めても肉体には悟りはないのです。

やがて、疲れて倒れてしまったお釈迦さまの肉体は【菩提樹の大樹】と大地によって癒され、蘇生させられて行きます。

そして、肉体の生命力が高まるにつれて迷いが無くなり、肉体の悩みや疲れによって意識を無くしていた魂に意識が戻りました。

さらに肉体の生命力が天地に融合していった時、お釈迦さまの魂が完全に甦り【覚醒】しました。

魂の所在は宇宙にあります。

お釈迦さまの魂の意識は宇宙とその真理と一体化していったのです。

■人間の精神は確かに肉体を超えた存在ですが、その精神と魂の体験を生涯支えるものは肉体です。

肉体のその時の状況によって、心も精神も、そして人生も大きく左右されます。まさに、生きるための全ては肉体の中に存在し、その機能や能力は生命力によってコントロールされます。

大気と大地の元素からなり、自然の環境の中に存在する生命エネルギーによって生命活動している肉体にとって、生活環境や自然環境は大切な生命の源になります。

■ 肉体の原理と仕組み

肉体は感情や高度な思考回路を持ったコンピューターを搭載した
精密で高度なロボットである

ロボットや自動車にはかなり多くの部品が使われています。
中にはかなり小さな部品も使われ、コンピューター部品などはさらに精密になります。

精度や機能が進化すると、部品の数も精密度もアップして行きます。
そして究極的には、ロボットは人間と見分けがつかないほどの、人工頭脳や人工皮膚まで持ったサイボーグになり、自動車は人工頭脳を搭載し、人間とも会話出来、完璧な制御装置を備えた自動運転車両になるでしょう。

実は、人間の肉体も宇宙インターネットや高性能頭脳の搭載された完璧なロボットなのです。

精度を極める為に、一億分の一センチと言われる超ミクロの、しかも超軽量の元素が使われています。

従って、軽量でしなやかな動きが出来、記憶や感情や思考力まで備えています。

しかも、肉体そのものは独立した意識体でありながら、肉体を持たないエネルギー体である【魂という意識体】が脳の中枢器官に関与して、肉体意識より優先的に肉体をコントロール出来る仕組みになっています。

■ 肉体には、柔軟性と精密性と高度な機能を持たせる為に、ソフトで軽量のエネルギー体元素が使われています。そのため、大地から放射される諸々なエネルギーや大気中の微量元素にも反応したり、影響を受け易くなっています。

こうした体の反応や、細胞の変化を病気と言います。

人間の肉体の中には、こうした人体の部品である臓器や神経細胞を正常に調整するための【自然治癒能力】という機能も備えられています。

しかし、細胞や内臓緒器官や身体各機能などの全ては、これらを動かしている自然生体エネルギーが正常な時に、治癒機能も活動出来ますが、現在のような大気汚染による化学物質と、電磁波や紫外線の充満する環境では自然生体エネルギーは損なわれ、治癒機能も働かないために身体機能が損

なわれて病気と言う状態になります。

こうした身体機能のエネルギー状況を確認するのが体温測定です。

■現在の環境下では、人体の全内臓器官や機能を正常に活動させるだけの十分な自然生体エネルギーが生活環境にないため、足の方にまわすエネルギーを足の付け根で止めて内臓に回すことから、冷え症現象がおきます。

さらにエネルギーが低下してくると、身体活力を維持するためのホルモン分泌器官である生殖機能が停滞するめ、免疫力や生命力が一気に低下し、子宮癌や卵巣癌や乳癌などの患者が増加することになります。

こうした根源の生命エネルギーの低下は、感情面や心を不安定にするため、精神的な障害にも繋がります。

多くの精神的な社会問題も、生命エネルギーが低下することから感情や精神面の、制御やコントロールが難しくなるためです。

■性ホルモンの低下は脳の中枢器官へのエネルギー供給を低下させ、酸欠状態となり、魂意識や精神意識が薄れ、想像力や直感力、感性や精神性の機能が損なわれて、肉体がストレス状態の感情や心で生きることになります。

つまり肉体と精神の関係は極めて密接な関係にあり『健全な肉体に健全な精神が宿る』ことになります。

■肉体のこの原理と仕組みを理解することで、原子レベルから細胞や肉体機能の改善と活性化はもちろん、心や精神までも調整することが出来ます。

さらには、人間の決断力や行動力、創造力や直感力、感性といった肉体や魂意識の活動力や能力をうごかすチャクラの働きも向上させることも出来ます。

頭頂のチャクラを開くことで脳内コンピューターを使い、地球や生命を動かしている宇宙情報にアクセスすることも可能になります。

まさに、人体は神秘の世界にして限りない情報と能力の世界です。

■ 人体を構成する三大生命元素

人体の 99.75%は空気である！

肉体の原理と仕組みで述べたように、人体は軽量で柔軟性に富、かつ高度な精密性をもたせるために最も比重の軽い大気元素で造られています。

その構成比率は【水素元素】49.7%、【炭素元素】^{生体電気エネルギー}24.9%、【酸素元素】^{生体磁気エネルギー}24.9%で全体の 99.5%、さらに窒素 0.25%です。(+) (一)

残りのミネラル微量元素は 48 種類ほどで、合わせても 0.25%です。

水素と酸素を合わせH₂Oの割合で、まさに人体は 75%の水分とも言えます。

さらに約 25%の炭素元素によって有機体である肉体が造られていることとなります。

■そして、人体の半分の 49.7%を構成する水素は宇宙根源のエネルギー元素であり、全ての元素をつくる大元の元素です。

水素元素はそれ自体では働きを持たないため、水素体の宇宙空間は光も温度も持たない暗黒の世界であり、質量の高い星や星座が輝いています。

人体を 49.7%もの水素元素で満たすのは、水素元素が人体の軽量化と精密化と、あらゆる体内変化や刺激に対応出来る素の元素だからです。

■原子番号 6 の炭素元素には元素同士を結合させる働きがあります。動植物や人体等の有機化合物は、この炭素元素によって各元素が結合し生命体を構成されています。

また、炭素元素の電磁波動はソフトな陽性の遠赤外線波動で、電機的性質を持っていて、大気中の生体電気エネルギーに反応します。

■原子番号 8 の酸素元素は陰性の遠赤外線波動を持った元素であり、磁氣的性質を持ち、二酸化ケイ素で構成される大地の生体磁気エネルギーと反応します。

また、水素元素とH₂Oのバランスで結合して物質化して水分となります。

さらには炭素元素の働きで窒素や多くの微量元素と結合して人体が構成されます。

■水素元素が6個融合したものが炭素元素であり、8個融合したものが酸素元素です。共に相乗作用で生命活動する生命元素ながら、全く相反する働きや作用をし生命活動の大役を果たしています。

しかし、この二つが結合して一酸化炭素や二酸化炭素となると生命活動を停止させたり、老化させたりする危険な化合物となります。

■また、このような軽量で精密な元素で構成され、実体が原子エネルギー体である人体は、細胞から内臓緒器管まで常に環境エネルギーとバランスを取り、反応し影響を受けながら生存しています。

大自然の中に入ると、人は身も心も爽やかに生き生きとしてきます。それは二酸化ケイ素体であり、大気中の3倍近い57%の質量を持つ大地の酸素から発信される生体磁気エネルギーが人体の酸素元素に作用し、大地に聳える大樹や樹木の炭素体から放射される生体電機エネルギーが体内炭素を活性化させるためです。

原子レベルから振動が活動的になり肉体から精神までが躍動するためです。

さらに、大樹や樹木は動物や人間の出す二酸化炭素を吸収し、大量の酸素を放出するため、それを吸収することで呼吸が楽になり、身体が爽やかになります。

■したがって、天然自然素材の木や土で作られた昔の住まいは、森の中と同じように陰陽の遠赤外線生命エネルギー空間であったため、かつての日本人は、大自然の中で暮らしているような豊かな肉体と豊かな精神力に満ちた人生を生き抜くことが出来ました。

しかし、戦後の貧しい経済復興から化学製品の新建材の多用が始まり、さらに防腐剤や白蟻駆除剤の使用、そして、氾濫する電磁波の激しい電機製品や電子機器、自動車等の乗り物、大気汚染、自然破壊とエスカレートしてきた、今やソフトな肉体元素は完全にバランスを失い、体と心の健康を失って来ています。

こうした免疫力や生命力の低下した肉体に、その原因となっている環境の改善や強化を図ることなく、薬や手術等による治療、過剰なミネラル分の摂取によってダメージを与えているのが現状です。

家庭や職場の環境改善や強化を図り、家庭や職場での健康障害を食い止めることが最大の健康対策です。